

A 会場

8:45～8:55 開会式

9:00～10:00 特別講演 1

抄録 P. 54

座長：島田 眞路（山梨大学 学長）

SL1 Treatment Landscape in advanced Melanoma

Dirk Schadendorf

Department of Dermatology, University Hospital Essen, Essen, Germany

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

10:10～11:40 スポンサーシンポジウム【進歩する悪性黒色腫の治療】 抄録 P. 77

座長：山崎 直也（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）

SSY-1 本邦のメラノーマ患者に関する最新の疫学データ

藤澤康弘^{1,2}（ふじさわ やすひろ）

¹筑波大学 皮膚科、²日本皮膚悪性腫瘍学会予後統計委員会

SSY-2 進行期メラノーマの薬物療法—Nivo+Ipi 併用療法の使用経験を含めて—

吉野公二（よしの こうじ）

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

SSY-3 メラノーマに対する術後補助療法のこれから—新規薬物の使用経験を含めて—

並川健二郎（なみかわ けんじろう）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

11:50～12:20 石原・池田賞表彰式・発表

12:30～13:30 ランチョンセミナー1【日本人に最適な治療戦略を考えよう！—BRAF 遺伝子変異陽性メラノーマ—】抄録 P. 83

座長：藤澤 康弘（筑波大学 皮膚科）
土田 哲也（埼玉医科大学 皮膚科）

LS1-1 エビデンスに基づいたメラノーマの術後補助療法

竹之内辰也（たけのうち たつや）
新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科

LS1-2 BRAF 遺伝子変異陽性例に対する治療選択と副作用マネジメント

吉野公二（よしの こうじ）
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:40～14:40 特別講演 2 抄録 P. 56

座長：山本 明史（埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）

SL2 食道メラノーマを乗り越えて

志澤 勝（しざわ まさる）
一般社団法人 日本養豚協会名誉顧問、一般社団法人 神奈川畜産振興会会長

共催：埼玉県皮膚科医会/埼玉県皮膚科治療学会

14:50～16:20 シンポジウム 1【皮膚悪性腫瘍治療における形成外科の役割】抄録 P. 67

座長：中塚 貴志（埼玉医科大学 形成外科・美容外科）
三鍋 俊春（埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科）

SY1-1 皮膚軟部組織腫瘍に対する形成外科的治療の推移と当院での試み

清澤智晴（きよさわ ともはる）
防衛医科大学校 形成外科

SY1-2 顔面皮膚悪性腫瘍に対する Oncoplastic surgery

元村尚嗣（もとむら ひさし）、羽多野隆治、藤川平四朗、前田周作
大阪市立大学 形成外科

SY1-3 顔面皮膚悪性腫瘍切除後の部位別再建方法

中川雅裕^{1,2}（なかがわ まさひろ）、中尾淳一²、荒木 淳²、大塚正樹³、吉川周佐³、
清原祥夫³

¹浜松医科大学 形成外科、²静岡がんセンター 再建・形成外科、³同 皮膚科

- SY1-4** 悪性黒色腫の切除から再建まで
—新しい薬物療法と外科手術のコラボレーション—
林 利彦^{1,2} (はやし としひこ)、前田 拓¹、山本有平¹
¹北海道大学 形成外科、²同 歯学研究院

総合討論

16:30~18:00 Symposium2

【Melanoma English Symposium : How do we approach to the difficult-to-treat Japanese case?】

Abstracts P. 71

Chairs : Taiki Isei (Osaka International Cancer Institute)

Yasuhiro Nakamura (Saitama Medical University International
Medical Center)

Special Commentator : Dirk Schadendorf (University Hospital Essen, Germany)

- SY2-1** Biological and immunological characteristics of melanoma subtypes
predominant in Japan
Takashi Inozume
Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Chiba University

- SY2-2** Major difference between Caucasian and Japanese population for
melanoma treatment
Yasuhiro Nakamura
Department of Skin Oncology/Dermatology,
Saitama Medical University International Medical Center

- SY2-3** Combination therapy of Immunotherapy and Radiotherapy
(Immuno-Radiotherapy)
Yoshiyuki Suzuki¹、Yuya Yoshimoto¹、Hiro Sato²、Tomoaki Tamaki¹
¹Fukushima Medical University, School of Medicine,
Department of Radiation Oncology,
²Gunma University Heavy Ion Medical Center, Gunma University

- SY2-4** Surgical Treatment of Acral Melanoma in the Evolution of Systemic
Therapies
Shigeto Matsushita
Department of Dermato-Oncology/Dermatology, National Hospital
Organization Kagoshima Medical Center, JAPAN

Discussion

9:00~9:55 一般演題 1【メラノーマ (1)】

抄録 P. 103

座長：清原 祥夫 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)
山本 有紀 (和歌山県立医科大学 皮膚科)

B-1-1 肝転移を生じた毛様体悪性黒色腫の 1 例

佐藤友利¹ (さとう ゆり)、中川倫代¹、角田加奈子¹、大西正純¹、橋爪公平²、天野博雄¹
¹岩手医科大学 皮膚科、²同 眼科

B-1-2* 悪性黒色腫との鑑別に苦慮した Atypical Spitz tumor (AST) の 1 例

清水健司¹ (しみず けんじ)、田中啓貴¹、徳力俊治¹、足立 靖²、高井利浩³
¹公立豊岡病院 形成外科、²同 病理診断科、³兵庫県立がんセンター 皮膚科

B-1-3 接合部型表皮水疱症に左下腿悪性黒色腫を合併した 1 例

山下雄太 (やました ゆうた)、山田元人、太田早紀、花村拓哉、藤城里香
豊橋市民病院 皮膚科

B-1-4 同一病変内に悪性黒色腫と基底細胞癌が生じた色素性乾皮症の 1 例

沢田広子 (さわだ ひろこ)、大下彰史、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科

B-1-5 右腋窩に生じ巨大腫瘤を形成した rhabdoid melanoma の 1 例

福島英彦¹ (ふくしま ひでひこ)、岩田洋平¹、榊原 潤²、山北高志²、山田勢至³、
塚本徹哉³、杉浦一充¹
¹藤田医科大学 皮膚科、²刈谷豊田総合病院 皮膚科、³藤田医科大学 病理診断学I

B-1-6* 免疫療法中に生じた重症光線過敏症の 1 例とその予後に対する検討

小森崇矢^{1,2} (こもり たかや)、松下茂人¹、青木恵美¹、杉野仁美¹
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、²京都大学 皮膚科

B-1-7* 指尖部に結節をきたした爪甲下悪性黒色腫の 1 例

上原治朗 (うえはら じろう)、杉本映綺、大熊香織、大阿久聡恵、日浦 梓、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

10:05~11:10 一般演題 2【メラノーマ (2)】

抄録 P. 105

座長：堤田 新 (がん研有明病院 皮膚腫瘍科・皮膚科)
緒方 大 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

B-2-1 足趾に生じた polypoid melanoma の 1 例

勝又文徳 (かつまた ふみのり)、脇 裕磨、平福啓一伍、延山嘉眞、朝比奈昭彦
東京慈恵会医科大学 皮膚科

B-2-2 頭部に発症した nevoid melanoma の 1 例

加来 洋¹ (かく よう)、山村健太郎²、石田雄大²、大日輝記^{1,2}、梶島健治²
¹香川大学 皮膚科、²京都大学 皮膚科

B-2-3 臀部 acne inversa より生じた悪性黒色腫の 1 例

八代 浩 (やつしろ ひろし)、藤崎美沙子、岡村咲由莉、長谷川義典
 福井県済生会病院

B-2-4 Primary Dermal Melanoma の 1 例

森 龍彦 (もり たつひこ)、草野美沙希、則川菜摘、山本美友貴、伊藤 崇、
 大塚幹夫、山本俊幸
 福島県立医科大学 皮膚科

B-2-5 5 年間の経過が記録された爪下悪性黒色腫の 1 例

渡辺翔子 (わたなべ しょうこ)、脇 裕磨、平福啓一伍、勝又文徳、延山嘉眞、
 朝比奈昭彦
 東京慈恵会医科大学 皮膚科

B-2-6 Desmoplastic malignant melanoma の 1 例

八木洋輔¹ (やぎ ようすけ)、桑井 匠¹、滝本莉子¹、山脇聖子²、大澤陽子³、大越忠和⁴
¹福井赤十字病院 皮膚科、²大阪赤十字病院 形成外科、³福井赤十字病院 耳鼻咽喉科、
⁴同 病理診断科

B-2-7* 色素性母斑と診断されていたが、*CCND1* と *CDKN2A* の FISH 法にて melanoma *in situ* と考えた 1 例

高井彩也華¹ (たかい さやか)、新井栄一²、緒方 大³、常深祐一郎¹、中村晃一郎¹、
 土田哲也¹
¹埼玉医科大学 皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科、
³国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

B-2-8* Balloon cell melanoma の 1 例

中谷佳保里¹ (なかたに かほり)、野村祐輝¹、上尾礼子¹、清原隆宏²
¹関西医科大学香里病院 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター

15:00~16:00 スイーツセミナー 1【今後のメラノーマに対する術後補助療法・治療戦略】
 抄録 P. 93

座長：山本 明史 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)
 奥山 隆平 (信州大学 皮膚科)

SS1-1 メラノーマ術後補助療法の変遷

並川健二郎 (なみかわ けんじろう)
 国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

SS1-2 進行期患者の治療戦略 併用療法を中心に

宇原 久 (うはら ひさし)
札幌医科大学 皮膚科

共催：東レ株式会社

16:10~17:10 教育講演 1

抄録 P. 61

座長：大塚 藤男 (筑波大学 名誉教授、柏ひふ科)

EL1 Fundamental Use of Surgical Energy (FUSE)

「目から鱗！電気メスの基礎原理と正しい使い方」

渡邊祐介 (わたなべ ゆうすけ)、倉島 庸、七戸俊明、平野 聡
北海道大学 消化器外科学教室II

17:20~18:25 一般演題 9 【メラノーマ (3)】

抄録 P. 107

座長：吉野 公二 (がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚科)
齋藤晋太郎 (群馬大学 皮膚科)

B-3-1 ダブラフェニブ・トラメチニブによる術後補助療法を行った悪性黒色腫 5 例の検討

小坂啓寿 (こさか けいじ)、安田正人、齋藤晋太郎、西尾麻由、岡 愛菜、
須藤麻梨子、岸 史子、茂木精一郎、石川 治
群馬大学 皮膚科

B-3-2 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) にて PD となった進行期悪性黒色腫 25 例の臨床的検討

松原大樹¹ (まつばら だいき)、菅 崇暢¹、森田知世¹、梅田直樹²、壺井聡史³、
河合幹雄¹、秀 道広¹
¹広島大学 皮膚科、²JA広島総合病院、³東京都立墨東病院

B-3-3* 脳転移で発見されニボルマブ投与後に重症筋無力症・筋炎を発症した胸部悪性黒色腫の 1 例

曾根明衣子¹ (そね めいこ)、福屋泰子¹、鈴木瑞穂¹、石黒直子¹、宗 勇人²、
池口亮太郎²、清水優子²、新田雅之³、川俣貴一³、村垣善浩³、関 桃子⁴、小倉彰太⁴、
土屋 健⁵
¹東京女子医科大学 皮膚科、²同 脳内科、³同 脳神経外科、⁴同 腎臓内科、
⁵同 血液浄化療法科

B-3-4* 集学的治療により長期生存している小腸原発悪性黒色腫脳転移の 1 例

阪野 恵 (さかの けい)、高橋玲子、福山國太郎
関西労災病院 皮膚科

B-3-5 免疫チェックポイント阻害剤により抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎が顕在化した背部悪性黒色腫の1例

日浦 梓 (ひうら あずさ)、杉本映綺、大熊香織、大阿久聡恵、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

B-3-6* 欠題**B-3-7** BRAF、MEK 阻害剤内服中に漿液性網膜剥離を発症した悪性黒色腫の3例
加持達弥^{1,2} (かじ たつや)、杉原 悟¹、山崎 修¹、森実 真¹、神崎勇希³、的場 亮³
¹岡山大学 皮膚科、²広島市民病院 皮膚科、³岡山大学 眼科**B-3-8** ゲノムパネルで新規治療のターゲットを発見した進行期悪性黒色腫の1例
神林由美¹ (かんばやし ゆみ)、藤村 卓¹、浅野雅之¹、橋本 彰¹、相場節也¹、城田英和²
¹東北大学 皮膚科、²同 腫瘍内科

9:00~10:00 一般演題3【SCC(1)】

抄録 P. 113

座長：片桐 一元（獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科）
佐藤さゆり（札幌医科大学 皮膚科）

- C-1-1*** 鼠径リンパ節転移を来した原発不明扁平上皮癌の1例
川崎彩加¹（かわさき さやか）、柴山慶継¹、内藤玲子¹、山口和記¹、古賀佳織²、今福信一¹
¹福岡大学 皮膚科、²同 病理部
- C-1-2** Erosive Pustular Dermatitis of the Scalp の長期経過中に有棘細胞癌を生じた1例
佐藤洋平（さとう ようへい）、青木孝司、大山 学
杏林大学 皮膚科
- C-1-3** 下口唇の開口部形質細胞増多症から生じた有棘細胞癌に対して小線源療法が著効した1例
横井友紀（よこい ゆき）、大下彰史、丸山彩乃、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科
- C-1-4** 皮膚有棘細胞癌再発転移例に対する治療の検討
青木恵美¹（あおき めぐみ）、松下茂人¹、小森崇矢¹、杉野仁美¹、坂本翔一¹、山村健太郎²、吉岡 学³、井上明葉³
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、²京都大学 皮膚科、³産業医科大学 皮膚科
- C-1-5** 進行期有棘細胞癌 Stage4 における切除可能 18 症例について
日浦 梓（ひうら あずさ）、杉本映綺、大熊香織、大阿久聡恵、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科
- C-1-6*** 有棘細胞癌の1例
越後岳士（えちご たけし）
石川県立中央病院 皮膚科
- C-1-7** 下口唇疣状癌に対して peplomycin 動注療法を行った1例
安仁屋僚¹（あにや りょう）、田中隆光¹、向井 慶¹、鎌田昌洋¹、大西誉光¹、山本真由²、近藤浩史²、笹島ゆう子³、立花弘之⁴、多田弥生¹
¹帝京大学 皮膚科、²同 放射線科、³同 病理診断科、⁴愛知県がんセンター 放射線治療部

座長：帆足 俊彦 (日本医科大学 皮膚科)

青山 裕美 (川崎医科大学 皮膚科)

C-2-1 鼠径リンパ節腫大を伴った、臀部の化膿性汗腺炎 (HS) に併発した有棘細胞癌の 1 例

林周次郎 (はやし しゅうじろう)、金井美馬、池上徹治、金子ゆき、山内 瑛、
塚田鏡寿、鈴木利宏、濱崎洋一郎、井川 健
獨協医科大学 皮膚科

C-2-2 切除不能な進行期 SCC における化学放射線同時併用療法後の維持療法の有用性について

日浦 梓 (ひうら あずさ)、杉本映綺、大熊香織、大阿久聡恵、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

C-2-3* StageIV の乳癌患者に生じた右上肢の進行期有棘細胞癌の 1 例

宮崎 駿¹ (みやざき しゅん)、帆足俊彦¹、山田麻以¹、山崎香理¹、水野真希¹、
田中真百合¹、柳原恵子²、佐藤吉隆³、前林勝也³、佐伯秀久¹
¹日本医科大学 皮膚科、²同 乳腺科、³同 放射線治療科

C-2-4 エホバの証人患者の頭頂部に生じた有棘細胞癌の 1 例—術前・術後の経過を含めて—

蔡 顯真¹ (さい けんしん)、平井優樹¹、松森万里子¹、上紺屋憲彦²、田原真也¹、
寺師浩人³
¹明和病院 形成外科、²同 放射線治療科、³神戸大学 形成外科

C-2-5 術後に顔面神経に沿って卵円孔から脳へ直接浸潤をきたした右頬部有棘細胞癌の 1 例

岩永 聰 (いわなが あきら)、楯塚 大、室田浩之
長崎大学 皮膚科

C-2-6 二分脊椎患者の膀胱瘻から発生した有棘細胞癌の 1 例

田中 了¹ (たなか りょう)、藤井智浩²、戎谷昭吾³、福永健志⁴、中村博貴⁴、田中伸吾¹、
山本剛伸¹、青山裕美¹
¹川崎医科大学 皮膚科、²同 泌尿器科、³同 形成外科、⁴同 放射線科 (画像診断)

C-2-7* 高 Ca 血症による意識障害を来した有棘細胞癌の 1 例

金子ゆき¹ (かねこ ゆき)、塚田鏡寿¹、森 智史¹、金井美馬¹、鈴木利宏¹、
濱崎洋一郎¹、井川 健¹、水沼有威子²、田中精一²、中里直正³
¹獨協医科大学 皮膚科、²同 内分泌代謝内科、³同 病理診断科

12:30~13:30 ランチョンセミナー 2

抄録 P. 85

座長：森田 明理 (名古屋市立大学 皮膚科)

LS2 メルケル細胞癌の治療実態とアベルマブの有用性・安全性

永瀬浩太郎 (ながせ こうたろう)

佐賀大学 皮膚科

共催：メルクバイオファーマ株式会社/ファイザー株式会社

15:00~16:00 スイーツセミナー 2【メラノーマを含む固形腫瘍における Biomarker の現状と進歩】

抄録 P. 95

座長：藤村 卓 (東北大学 皮膚科)

為政 大幾 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)

SS2-1 BRAF 阻害剤 MEK 阻害剤と腫瘍免疫の関係

大塚篤司 (おおつか あつし)

京都大学 外胚葉性疾患創薬医学講座

SS2-2 がん遺伝子パネル検査の実臨床での課題と展望

池田貞勝 (いけだ さだかつ)

東京医科歯科大学 がん先端治療部

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

16:10~17:20 一般演題 10【リンフォーマ (1)】

抄録 P. 117

座長：島内 隆寿 (浜松医科大学 皮膚科)

濱田 利久 (高松赤十字病院 皮膚科)

C-3-1 消化管穿孔を契機に発見された菌状息肉症 (MF) 小腸転移の 1 例伏間江貴之¹ (ふすまえ たかゆき)、土屋菜里絵¹、平井郁子¹、中村善雄¹、清島 亮²、
牧野暁嗣²、鳥崎友紀子²、森 毅彦³、船越 建¹¹慶應義塾大学 皮膚科、²同 一般消化器外科、³同 血液内科**C-3-2** 腎移植後に生じた移植後リンパ増殖性疾患の 1 例眞部恵子¹ (まなべ けいこ)、浅越健治¹、村上裕之²、藤原拓造³、太田康介⁴、神農陽子⁵、
吉野 正⁶¹岡山医療センター 皮膚科、²同 血液内科、³同 腎移植外科、⁴同 腎臓内科、⁵同 臨床検査科、⁶岡山大学 病理学**C-3-3*** 壊疽性膿皮症様の外観を呈した原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫の 1 例

竹崎大輝 (たけざき だいき)、石井芙美、蓮井謙一、細川洋一郎、濱田利久

高松赤十字病院 皮膚科

C-3-4* 臨床像から節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型を想起したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例

三輪 祐 (みわ たすく)、田代康哉、須永知里、猿田祐輔、末木博彦
昭和大学 皮膚科

C-3-5 ベキサロテンが奏効した皮膚T細胞リンパ腫の1例

木戸一成 (きど いっせい)、中島英貴、佐野栄紀
高知大学 皮膚科

C-3-6 下肢の紫斑を主症状としたNK/T細胞リンパ腫の1例

菊池信之¹ (きくち のぶゆき)、大塚幹夫¹、山本俊幸¹、星美智子²
¹福島県立医科大学 皮膚科、²星総合病院 皮膚科

C-3-7* 表皮向性を示す原発性皮膚 $\gamma\delta$ T細胞リンパ腫の1例

石橋菜実 (いしばし まみ)、加来 洋、勝尾公祐、白居駿也、鬼頭昭彦、平野智子、
遠藤雄一郎、野村尚史、椛島健治
京都大学 皮膚科

C-3-8 本邦における偽リンパ腫性毛包炎72例の臨床病理学的検討

小路口奈帆子¹ (しょうじぐち なおこ)、新井栄一¹、土田哲也²、安齋眞一³、阿南 隆⁴、
百瀬修二⁵

¹埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科、²埼玉医科大学 皮膚科、

³日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科、⁴札幌皮膚病理診断科、

⁵埼玉医科大学総合医療センター 病理部

C-3-9 黄色腫反応、毛包性ムチン沈着症をともなった毛包向性菌状息肉症症例

濱田利久¹ (はまだ としひさ)、高萩俊輔²、竹崎大輝¹、石井美美¹、蓮井謙一¹、
細川洋一郎¹

¹高松赤十字病院 皮膚科、²広島大学 皮膚科

17:30~18:35 一般演題 11【リンフォーマ (2)】

抄録 P. 120

座長：大塚 幹夫 (福島県立医科大学 皮膚科)

八木 宏明 (静岡県立総合病院 皮膚科)

C-4-1 当科における皮膚T細胞リンパ腫に対するプラトトレキサートの使用経験

岡 謙太^{1,2} (おか けんた)、上條広章¹、仙田尚之¹、坊木ひかり¹、川名由起¹、
管 析¹、宮垣朝光^{1,3}、佐藤伸一¹

¹東京大学 皮膚科、²相模原病院 皮膚科、³聖マリアンナ医科大学 皮膚科

C-4-2 モガムリズマブ単剤療法無効例にエトポシド療法が著効した皮膚T細胞リンパ腫の3例

大内謙太郎 (おおうち けんたろう)、藤村 卓、神林由美、天貝 諒、佐藤遥太、
谷田佳世、相場節也

東北大学 皮膚科

- C-4-3** 背部に巨大な腫瘤を形成したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例
三浦慎平¹ (みうら しんぺい)、高嶋真紀¹、丹治峻之¹、渡辺彩乃¹、渡部大輔¹、
天野博雄¹、佐々木了政²
¹岩手医科大学 皮膚科、²同 血液腫瘍内科
- C-4-4** 集学的治療を行った毛包向性菌状息肉症の 1 例
太田志野¹ (おおた しの)、馬場裕子¹、八代 聖^{1,2}、河原由恵¹
¹けいゆう病院 皮膚科、²慶應義塾大学 皮膚科
- C-4-5** 再発または難治性の末梢性および皮膚 T 細胞性リンパ腫の日本人患者を対象
とした、E7777 の第 2 相試験
清原英司¹ (きよはら えいじ)、安藤 潔²、丸山 大³、山本一仁⁴、照井康仁⁵、
福原規子⁶、宮垣朝光⁷、戸倉新樹⁸、坂田 (柳元) 麻実子⁹、五十嵐忠彦¹⁰、黒田純也¹¹、
飛内賢正³
¹大阪大学 皮膚科、²東海大学 血液・腫瘍内科、
³国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科、
⁴愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法部、⁵がん研究会有明病院 血液腫瘍科、
⁶東北大学 血液・免疫科、⁷東京大学 皮膚科、⁸浜松医科大学 皮膚科、
⁹筑波大学 血液内科、¹⁰群馬県立がんセンター 血液内科、¹¹京都府立医科大学 血液内科
- C-4-6*** HIV 感染に伴う pseudo-Sezary と考えた 1 例
川名由起¹ (かわな ゆき)、管 析¹、坊木ひかり¹、上條広章¹、仙田尚之¹、
佐藤伸一¹、井上梨沙子²、福島一彰³、鄭 瑞雄³
¹東京大学 皮膚科、²都立大塚病院 皮膚科、³都立駒込病院 感染症科
- C-4-7** ベキサロテンを長期投与した菌状息肉症 3 例についての検討
中川裕貴¹ (なかがわ ゆき)、平井陽至¹、濱田利久²、森実 真¹
¹岡山大学 皮膚科、²高松赤十字病院 皮膚科
- C-4-8*** 圧迫部位に丘疹状の特異疹が集簇した急性型成人 T 細胞白血病リンパ腫
(ATLL) の 1 例
坂口 萌 (さかぐち もえ)、佐藤絵美、村尾 玲、今福信一
福岡大学 皮膚科

9:00~10:00 一般演題 5【ポーエン・BCC (1)】

抄録 P. 131

座長：長谷川 稔 (福井大学 皮膚科)

田村 敦志 (伊勢崎市民病院 皮膚科)

D-1-1 同側の異なる手指に悪性黒色腫とポーエン病を生じた 1 例平岩朋子 (ひらいわ ともこ)、草野美沙希、佐藤真由、石川真郷、大塚幹夫、山本俊幸
福島県立医科大学 皮膚科**D-1-2** 開腹術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の 1 例上塘葉子¹ (かみとも ようこ)、武田浩一郎¹、玉井真理子¹、佐藤浩子¹、神崎 保¹、
米倉健太郎¹、島田辰彦²
¹今村総合病院 皮膚科、²島田ひふ科**D-1-3** 限界線照射部位に生じた多発基底細胞癌と有棘細胞癌長谷川道子¹ (はせがわ みちこ)、日高太陽^{1,2}、田村敦志¹
¹伊勢崎市民病院 皮膚科、²産業医科大学 皮膚科**D-1-4** ピアス孔が発生母地となった右耳垂の基底細胞癌岸 龍馬 (きし りょうま)、金子高英、木村有太子、高森建二、須賀 康
順天堂大学浦安病院 皮膚科**D-1-5** 生検時診断に苦慮した左前腕基底細胞癌の 1 例四十万谷貴子 (しじまや たかこ)、谷村裕嗣、大西早百合、津田真里、長野奈央子、
中丸 聖、槇村 馨、清原隆宏
関西医科大学総合医療センター 皮膚科**D-1-6*** 躯幹の巨大脂腺母斑に、高齢になり同時期に基底細胞癌と毛芽腫を発生した 1 例伊藤 誠 (いとう まこと)、林健太郎、工藤真未、荻谷嘉之、高橋健造
琉球大学 皮膚科**D-1-7** 紅色の外観を呈し有棘細胞癌が疑われた無色素性基底細胞癌の検討朱 樹李 (しゅ じゅり)、宮地秀明、丸 裕吾、山本洋輔、中野倫代、外川八英、
松江弘之
千葉大学 皮膚科

座長：清原 隆宏（関西医科大学総合医療センター 皮膚科）
松谷 泰祐（旭川医科大学 皮膚科）

D-2-1 腋窩リンパ節転移と神経周囲浸潤、骨浸潤を伴った上腕基底細胞癌の 1 例
小川大貴¹（おがわ だいき）、本田理恵¹、小西里沙¹、伊藤周作¹、大坪研介²、磯田文平³、
坂田晃子⁴

¹日立総合病院 皮膚科、²同 整形外科、³同 泌尿器科、⁴同 病理診断科

D-2-2 母斑性基底細胞癌症候群の腫瘍病変に対しイミキモド外用治療を行った 1 例
柴田知之¹（しばた ともゆき）、岩下宣彦¹、渡辺 瞳¹、高間寛之¹、大嶋雄一郎¹、
渡辺大輔¹、宮下俊之²

¹愛知医科大学 皮膚科、²北里大学 分子遺伝学

D-2-3 イミキモドクリームで治療した無色素性基底細胞癌の 1 例

武藤律子（むとう りつこ）

聖母病院 皮膚科

D-2-4 当院の巨大基底細胞癌の治療例

盛田紘有（もりた ひろみち）、杉本映綺、大熊香織、大阿久聡恵、日浦 梓、
上原治朗、吉野公二

がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科

D-2-5* 救肢できたソケイ部巨大基底細胞癌の 1 例

鈴木健司¹（すずき けんじ）、清原隆宏²

¹関西医科大学総合医療センター 形成外科、²同 皮膚科

D-2-6 両腋窩、上腕に多発した基底細胞癌の 1 例

木岡茉奈（きおか まな）、園村真美、鄭 韓英、大塚俊宏、黒川晃夫、森脇真一
大阪医科大学 皮膚科

座長：猪爪 隆史（千葉大学 皮膚科）
延山 嘉真（東京慈恵会医科大学 皮膚科）

D-3-1 初診時より骨盤内にリンパ節転移を認めた悪性黒色腫の 1 例

後藤寛之（ごとう ひろゆき）、吉田雄一、山元 修

鳥取大学 皮膚科

D-3-2 欠題

D-3-3 ニボルマブとインターフェロン β 局注の併用により消退した悪性黒色腫 in-transit 転移の 1 例

大西正純（おおにし まさずみ）、三浦慎平、渡辺彩乃、角田加奈子、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科

D-3-4* 抗PD-1/CTLA-4抗体併用療法によって誘発されたと考えられた血小板減少症の1例

佐藤さゆり¹ (さとう さゆり)、加藤潤史¹、小林英理¹、細川夕菜¹、箕輪智幸¹、
藤岡菜生¹、堀本浩平¹、村瀬和幸²、宇原 久¹
¹札幌医科大学 皮膚科、²同 血液・腫瘍内科

D-3-5 免疫チェックポイント阻害薬を投与した悪性黒色腫 26 症例の検討

西原克彦¹ (にしはら かつひこ)、武藤 潤¹、眞田紗代子²、八束和樹¹、戸澤麻美²、
白石 研¹、森 秀樹²、中岡啓喜²、佐山浩二¹
¹愛媛大学 皮膚科、²同 形成外科

D-3-6 胸膜転移に対する Encorafenib、Binimetinib 併用療法によって腫瘍崩壊症候群を生じた悪性黒色腫の1例

立花宏太 (たちばな こうた)、大江秀一、田中麻理、爲政大幾
大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科

D-3-7 本邦メラノーマにおける BRAF/MEK 阻害剤併用療法の効果についての多施設共同研究：102 例の解析

藤澤康弘¹ (ふじさわ やすひろ)、伊東孝通²、加藤裕史³、入江浩之⁴、加持達弥⁵、
前川武雄⁶、浅井 純⁷、山本有紀⁸、藤村 卓⁹、吉野公二¹⁰
¹筑波大学 皮膚科、²九州大学、³名古屋市立大学、⁴京都大学、⁵岡山大学、⁶自治医科大学、
⁷京都府立医科大学、⁸和歌山県立医科大学、⁹東北大学、¹⁰都立駒込病院

D-3-8 ダブラフェニブ、トラメチニブ療法により線溶系マーカーとプロカルシトニンが著増した悪性黒色腫の1例

中村貴之 (なかむら よしゆき)、石月翔一郎、岩崎理子、藤澤康弘
筑波大学 皮膚科

14:55~16:00 一般演題 13 【メラノーマ (5)】

抄録 P. 137

座長：竹之内辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科)
加藤 潤史 (札幌医科大学病院 皮膚科)

D-4-1 根治切除不能な悪性黒色腫を対象としたペムブロリズマブ(キイトルーダ)の使用成績調査最終報告

山崎直也¹ (やまざき なおや)、尾崎正彦²、濱田昌宏²、竹内紀子²、嶺岸利彦³、
伊藤雄一郎³、前川慎一郎²
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²MSD株式会社 ファーマコビジランス、
³同 メディカルアフェアーズ

D-4-2* 血清 LDH 値上昇時の BRAF+MEK 阻害薬間の薬剤変更にて腫瘍縮小を維持した悪性黒色腫の1例

佐藤貴彦 (さとう たかひこ)、山田勝裕、山田雅之、佐藤有里子、戸村八蓉生、
能登 舞、河野通浩
秋田大学 皮膚科

D-4-3* ニボルマブ・イピリムマブ併用療法施行 4 症例で生じた小脳失調を含む様々な irAE

田口良吉 (たぐち りょうきち)、高橋 彩、寺木祐一、福田知雄
埼玉医科大学総合医療センター

D-4-4 免疫チェックポイント阻害薬による下垂体機能低下症 4 例の検討

石川秀幸 (いしかわ ひでゆき)、渡邊裕子、山川浩平、水野雄斗、新村智巳、
福澤理映、金岡美和、和田秀文、相原道子
横浜市立大学 皮膚科

D-4-5 東北大学における進行期悪性黒色腫に対する抗 PD-1 抗体を用いた術後補助療法

天貝 諒 (あまが い りょう)、藤村 卓、神林由美、大内謙太郎、佐藤遥太、
谷田佳世、遠野久幸、橋本 彰、相場節也
東北大学 皮膚科

D-4-6 妊婦に生じた悪性黒色腫に対する免疫療法の 1 例

坂本翔一¹ (さかもと しょういち)、山本有紀¹、村岡響子¹、国本佳代¹、南佐和子²、
大橋理加³、辻岡 馨³、井篁一彦²、神人正寿¹
¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²同 産科婦人科、³日本赤十字社和歌山医療センター 皮膚科

D-4-7 脈絡膜悪性黒色腫術後、多発転移に対し nivolumab+ipilimumab 併用療法が奏効した 1 例

角南志保 (すなみ しほ)、大塚篤司、山村健太郎、椛島健治
京都大学 皮膚科

D-4-8* 悪性黒色腫の多発皮膚転移と多発リンパ節転移に対してニボルマブ・イピリムマブ併用療法が著効した 1 例

篠田 進 (しのだ すすむ)、箕 祐未、中島杏奈、光井康博、小川浩平、宮川 史、
浅田秀夫
奈良県立医科大学 皮膚科

16:10~17:15 一般演題 14 【メラノーマ (6)】

抄録 P. 139

座長：内 博史 (九州がんセンター 皮膚科)

上原 治朗 (がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科)

D-5-1* 放射線療法併用下でのニボルマブ投与により一定の進行抑制効果を得た小児 meningeal melanomatosis の 1 例

武居慎吾¹ (たけい しんご)、結城明彦¹、阿部理一郎¹、太田智慶²、棗田 学²、
大石 誠²、柿田明美³
¹新潟大学 皮膚科、²同 脳神経外科、³新潟大学脳研究所 病理学分野

D-5-2* 転移性悪性黒色腫に対して、異なる2組のBRAF/MEK阻害薬のリチャレンジが奏功した1例

寺西梨絵 (てらにし りえ)、小澤俊幸、山内あい子、鶴田大輔
 大阪市立大学 皮膚科

D-5-3* ダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法中に横紋筋融解症を来した悪性黒色腫の3例

北村昇矢 (きたむら しょうや)、面高俊和、鈴木里香、高沢裕子、中村謙太、
 木庭幸子、奥山隆平
 信州大学 皮膚科

D-5-4* BRAF/MEK阻害薬のリチャレンジが奏功した進行期悪性黒色腫

六戸大樹¹ (ろくのへ だいき)、相樂千尋¹、中野 創¹、澤村大輔¹、金子高英²
¹弘前大学 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 皮膚科

D-5-5 進行期メラノーマにおける抗PD-1抗体無効後の後治療効果に関する多施設共同研究(中間集積報告)

船越 建¹ (ふなこし たける)、寺本由紀子²、木庭幸子³、竹之内辰也⁴、前川武雄⁵、
 松下茂人⁶、青井 淳⁷、土井春樹⁸、並川健二郎⁹、山崎直也⁹
¹慶應義塾大学 皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、³信州大学 皮膚科、
⁴新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁵自治医科大学 皮膚科、
⁶鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、⁷熊本大学 皮膚科、⁸旭川医科大学 皮膚科、
⁹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

D-5-6 進行期メラノーマへの抗PD-1抗体無効後のnivolumab/ipilimumab効果に関する多施設共同研究(中間集積報告)

吉川周佐¹ (よしかわ しゅうすけ)、寺本由紀子²、中村泰大²、大江秀一³、宇原 久⁴、
 宮川卓也⁵、柴山慶継⁶、八田尚人⁷、山崎直也⁸
¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、
³大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、⁴札幌医科大学 皮膚科、⁵東京大学 皮膚科、
⁶福岡大学 皮膚科、⁷富山県立中央病院 皮膚科、
⁸国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

D-5-7 当科におけるニボルマブ、イピリムマブ併用療法の悪性黒色腫20例のまとめ

中村謙太 (なかむら けんた)、芦田敦子、木庭幸子、奥山隆平
 信州大学 皮膚科

D-5-8 ニボルマブ投与中に自己免疫性溶血性貧血を発症した悪性黒色腫

中島康爾¹ (なかじま こうじ)、是川あゆ美¹、福井智久¹、相樂千尋¹、赤坂英二郎¹、
 六戸大樹¹、中野 創¹、澤村大輔¹、金子高英²
¹弘前大学 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 皮膚科

座長：藤澤 康弘 (筑波大学 皮膚科)
前川 武雄 (自治医科大学 皮膚科)

D-6-1 化学療法未治療の悪性黒色腫に対するニボルマブの国内第Ⅱ相試験 (ONO-4538-08) : 5年フォローアップ

宇原 久¹ (うはら ひさし)、清原祥夫²、上原治朗³、藤澤康弘⁴、竹之内辰也⁵、大塚正樹²、内 博史⁶、尹 浩信⁷、南 博信⁸、山崎直也⁹
¹札幌医科大学、²静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、³がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科、⁴筑波大学 皮膚科、⁵新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁶九州がんセンター 皮膚腫瘍科、⁷熊本大学 皮膚科、⁸神戸大学 腫瘍・血液内科、⁹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

D-6-2 悪性黒色腫の脳転移に対して BRAF/MEK 阻害剤のリチャレンジが有効だった 1 例

栗山春香 (くりやま はるか)、福島 聡、田中憲一郎、山村修司、清原佐央里、宮下 梓、尹 浩信
熊本大学 皮膚科

D-6-3 BRAF+MEK 阻害薬治療後に免疫チェックポイント阻害薬に切り替えた悪性黒色腫症例の検討

前川武雄 (まえかわ たけお)、角総一郎、神谷浩二、村田 哲、大槻マミ太郎
自治医科大学 皮膚科

D-6-4 BRAF/MEK 阻害剤治療後に IPI/NIV 併用療法を行った悪性黒色腫の 1 例

松山かなこ (まつやま かなこ)、後藤祐介、周 円、清島真理子
岐阜大学 皮膚科

D-6-5 免疫療法により肝不全を来した悪性黒色腫の 1 例

梅舟莉加 (うめふね りか)、加藤雪彦、神田泰洋、木村友梨、島井友佳子、梅林芳弘
東京医科大学八王子医療センター

D-6-6* ニボルマブ・イピリムマブ併用療法により腫瘍崩壊症候群を発症した転移性悪性黒色腫の 1 例

小西里沙¹ (こにし りさ)、石塚洋典¹、今井秀美¹、井上紗恵¹、藤澤康弘¹、平岡孝浩²、星野哲也³
¹筑波大学 皮膚科、²同 眼科、³同 救急・集中治療科

D-6-7 ダブラフェニブ・トラメチニブ内服中に有棘細胞癌を発症した悪性黒色腫の 1 例

多田瑞穂 (ただ みづほ)、生野知子、石川一志、波多野豊
大分大学 皮膚科

D-6-8

免疫チェックポイント阻害薬投与中に腫瘍崩壊症候群を発症した悪性黒色腫の1例

小田隆夫¹ (おだ たかお)、加藤裕史¹、真柄 梓¹、甚目航太²、櫻井麻衣¹、中村元樹¹、森田明理¹

¹名古屋市立大学 皮膚科、²聖霊病院 皮膚科

9:00~10:00 一般演題7【附属器腫瘍(1)】

抄録 P. 146

座長：加藤 則人(京都府立医科大学 皮膚科)
吉川 周佐(静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)

E-1-1 Malignant solid-cystic hidradenoma と考えた 1 例

畑 昭宇(はた あきたか)、大岩智大、高瀬早和子、西村陽一、太田深雪、藤田真文、
柏原万里、立花隆夫
大阪赤十字病院 皮膚科

E-1-2 大型の嚢腫構造を伴った Microcystic adnexal carcinoma の 1 例

石月翔一郎(いしづき しょういちろう)、中村貴之、藤澤康弘
筑波大学 皮膚科

E-1-3 急速進行し原病死に至った hidradenocarcinoma の 1 例

中谷祥子(なかたに しょうこ)、横山大輔、八尋知里、田中菜々子、後藤啓介、
高井利浩
兵庫県立がんセンター 皮膚科

E-1-4* Digital papillary adenocarcinoma の 2 例

佐竹宏介¹(さたけ こうすけ)、後藤啓介²、佐々木庸介¹、松下浩和³、吉川周佐¹、
高橋 満⁴、清原祥夫¹
¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²同 病理診断科、³中山皮膚科・形成外科、
⁴静岡県立静岡がんセンター 整形外科

E-1-5 乳頭状汗管嚢胞腺癌の 1 例

大黒督子(おおぐろ とくこ)、中島英貴、佐野栄紀
高知大学 皮膚科

E-1-6* 右腰背部の脂腺母斑に続発したエクリン汗孔癌の 1 例

齊藤日向子¹(さいとう ひなこ)、森村壮志¹、重野和彦¹、遠山哲夫¹、富田裕彦²、
菅谷 誠¹
¹国際医療福祉大学 皮膚科、²同 病理診断科

E-1-7 Mucinous carcinoma の 2 例

猪狩翔平(いがり しょうへい)、平岩朋子、花見由華、大塚幹夫、山本俊幸
福島県立医科大学 皮膚科

座長：錦織千佳子（神戸大学 皮膚科）

松下 茂人（鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）

E-2-1* アポクリン嚢胞腺腫が悪性化した HER2 陽性の頭頂部腺癌に対し抗 HER2 抗体とドセタキセル療法を施行した 1 例

平野 唯（ひらの ゆい）、遠藤雄一郎、加来 洋、臼居駿也、改正純一、野村尚史、椛島健治

京都大学 皮膚科

E-2-2* 病理組織学的に漏斗部分化が主体であった大腿部 proliferating trichilemmal tumor (PTT) の 1 例北川敬之¹（きたがわ ひろし）、櫻井 敦¹、谷口智哉¹、北野大希¹、高井利浩²¹兵庫県立加古川医療センター 形成外科、²兵庫県立がんセンター 皮膚科**E-2-3** 腋窩に生じた signet-ring cell/histiocytoid carcinoma の 1 例大西早百合¹（おおにし さゆり）、谷村裕嗣¹、津田真里¹、四万谷貴子¹、長野奈央子¹、中丸 聖¹、楨村 馨¹、鈴木健司²、清原隆宏¹¹関西医科大学総合医療センター 皮膚科、²同 形成外科**E-2-4** エピルビシンとカルボプラチンの併用療法に反応したエクリン汗孔癌の 1 例田原純平¹（たはら じゅんぺい）、大塚篤司¹、小松貴義²、山村健太郎¹、加来 洋¹、遠藤雄一郎¹、江川形平¹、野村尚史¹、椛島健治¹¹京都大学 皮膚科、²天理よろづ相談所病院**E-2-5** 術後放射線療法、low-dose FP 療法併用により良好な経過を得たエクリン汗孔癌の 2 例

齋藤晋太郎（さいとう しんたろう）、安田正人、西尾麻由、小坂啓寿、須藤麻梨子、岸 史子、茂木精一郎、石川 治

群馬大学 皮膚科

E-2-6 nab-paclitaxel 療法で加療した上眼瞼部原発皮膚粘液癌の 1 例石川一志¹（いしかわ かずし）、岩永賢三¹、平石瞳美¹、内村公美¹、轟木麻子¹、多田瑞穂¹、西田陽登²、中村優佑³、波多野豊¹¹大分大学 皮膚科、²同 診断病理学、³大分県立病院 皮膚科**E-2-7** 異時性に生じた両側腋窩アポクリン腺癌の 1 例吉見公佑¹（よしみ こうすけ）、岩崎啓介²、新野大介²、林 洋子²、池原 進¹¹佐世保市総合医療センター 皮膚科、²同 病理診断科

座長：島田 眞路 (山梨大学 学長)

加藤 則人 (京都府立医科大学 皮膚科)

LS3-1 メラノーマの治療戦略～術後補助療法を中心に～

高橋 聡 (たかはし あきら)

国立がん研究センター中央病院

LS3-2 進行期悪性黒色腫の治療戦略

内 博史 (うち ひろし)

九州がんセンター

共催：MSD 株式会社

座長：爲政 大幾 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)

福島 聡 (熊本大学 皮膚科)

E-3-1 顔面の浮腫とびまん性紅色局面を主徴とした angiosarcoma の 1 例和田昇悟¹ (わだ しょうご)、並木 剛¹、高橋道央²、宮崎安洋²、横関博雄¹¹東京医科歯科大学 皮膚科、²災害医療センター 皮膚科**E-3-2** 乳癌温存療法後に発症した放射線関連血管肉腫の 1 例森明日香 (もり あすか)、有馬亜衣、伊東杏理、松本優香、小川浩平、真柴久実、
宮川 史、浅田秀夫

奈良県立医科大学 皮膚科

E-3-3 乳房温存術後の放射線誘発性血管肉腫

齋藤龍一 (さいとう りゅういち)、大森 俊、岡田悦子、中村元信

産業医科大学 皮膚科

E-3-4 原発性滲出性リンパ腫を合併しパンツ型の紫斑を呈した AIDS 関連 Kaposi 肉腫の 1 例

古岡慶子 (ふるおか けいこ)、田中彰浩、中村 彩、藤井翔太郎、長野 徹

神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科

E-3-5* Chronic expanding hematoma と鑑別を要した血管肉腫の 1 例

宮崎 健 (みやざき けん)

和歌山県立医科大学 皮膚科

E-3-6* 血管成分が極めて乏しかった血管肉腫の 1 例

貴志有紗 (きし ありさ)、大橋洋之、竹内そら、宮垣朝光、門野岳史

聖マリアンナ医科大学 皮膚科

E-3-7 頭部血管肉腫と平滑筋肉腫を合併した1例

國府 拓¹ (こくぶ ひらく)、藤本徳毅¹、小池隆弘¹、加藤 威¹、中西健史¹、真鍋俊明²、田中俊宏¹

¹滋賀医科大学 皮膚科、²堺町御池病理診断科クリニック

E-3-8 頭部血管肉腫に対しドキソルビシン投与が一時奏功した1例

飼沼実優¹ (かいぬま みゆう)、増澤真実子¹、高岡奈那子¹、白井京美¹、早田 格²、柳澤宏入³、天羽康之¹

¹北里大学 皮膚科、²同 放射線治療科、³埼玉医科大学 皮膚科

E-3-9 頭部血管肉腫に対して強度変調回転放射線治療 (VMAT) を行った1例

北内裕里恵 (きたうち ゆりえ)、影山玲子、島内隆寿、伊藤泰介、戸倉新樹
浜松医科大学 皮膚科

15:00~16:10 一般演題 17 【脈管系腫瘍 (2)】

抄録 P. 153

座長：末木 博彦 (昭和大学 皮膚科)

神人 正寿 (和歌山県立医科大学 皮膚科)

E-4-1* 頭皮原発血管肉腫に対する化学療法および強度変調放射線照射による集学的治療の有用性

前田 拓¹ (まえだ たく)、北條正洋¹、林 利彦¹、山本有平¹、安田耕一²

¹北海道大学 形成外科、²同 放射線治療科

E-4-2 当科で経験した血管肉腫7例の検討

三澤 恵 (みざわ めぐみ)、牧野輝彦、竹本景太、鹿児島浩、清水忠道

富山大学 皮膚科

E-4-3 低用量ドセタキセルと放射線療法の併用で治療した頭部血管肉腫の1例

天野愛純香 (あまの あすか)、梅田直樹、田中友里恵、住元遥香

JA広島総合病院 皮膚科

E-4-4 久留米大学における MAID 療法を施行した頭部血管肉腫7例の検討

土居礼一¹ (どい れいいち)、武藤一考¹、大畑千佳¹、名嘉眞武国¹、名嘉眞健太²、

今村太一³、猿田 寛⁴

¹久留米大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、³今村皮膚科形成外科、

⁴猿田皮膚科医院

E-4-5 タキサソ治療歴のある皮膚血管肉腫に対するエリブリンの効果を検証する前向き観察研究

藤澤康弘¹ (ふじさわ やすひろ)、藤村 卓²、松下茂人³、山本有紀⁴、内 博史⁵、

大塚篤司⁶、舩越 建⁷、宮城拓哉⁸、秦 洋郎⁹、吉野公二¹⁰

¹筑波大学 皮膚科、²東北大学、³鹿児島医療センター、⁴和歌山県立医科大学、

⁵九州がんセンター、⁶京都大学、⁷慶應義塾大学、⁸琉球大学、⁹北海道大学、¹⁰都立駒込病院

E-4-6 頭部血管肉腫患者における血漿フィブリノゲン濃度と予後との関連の検討

森章一郎 (もり しょういちろう)、茜部穂波、奥村真央、浦田 透、村上佳恵、
横田憲二、秋山真志
名古屋大学 皮膚科

E-4-7* 脳神経外科入院中に皮膚科で血管肉腫と診断したことにより転院調整に苦慮した1例

倉繁祐太^{1,2} (くらしげ ゆうた)、服部明德³、加藤 創⁴
¹TMGあさか医療センター 皮膚科、²倉繁皮ふ科医院、³北野病院 内科、
⁴TMGあさか医療センター 医療福祉部

E-4-8* 十二指腸転移をきたした頭部血管肉腫の1例

西 純平 (にし じゅんぺい)、米倉直美、田中絵理子、村中友加里、永瀬浩太郎、
井上卓也、成澤 寛
佐賀大学 皮膚科

E-4-9 福井大学皮膚科における頭部血管肉腫の治療経験：過去11年間18症例の検討

長谷川巧 (はせがわ たくみ)、飯野志郎、関根史織、笠松宏至、内田沙織、
宇都宮夏子、加藤卓浩、白石夏希、尾山徳孝、長谷川稔
福井大学 皮膚科

16:20~17:10 一般演題 18 【間葉系・組織球系腫瘍 (1)】

抄録 P. 156

座長：中村 元信 (産業医科大学 皮膚科)

出光 俊郎 (自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科)

E-5-1 左下腿に生じた malignant mixed tumor

影山玲子 (かげやま れいこ)、榎原あゆみ、高柳裕里恵、島内隆寿、藤山俊晴、
伊藤泰介、戸倉新樹
浜松医科大学 皮膚科

E-5-2* COL1A1-PDGFB 融合遺伝子変異を認めた隆起性皮膚線維肉腫の1例

井上 円¹ (いのうえ まどか)、水谷有希¹、松山かなこ¹、周 円¹、神人正寿²、
宮崎龍彦³、清島真理子¹
¹岐阜大学 皮膚科、²和歌山県立医科大学、³岐阜大学 病理部

E-5-3 広範に存在した上肢低悪性度粘液線維肉腫の1例

黒川正人¹ (くろかわ まさと)、安田聖人¹、長峯理子²
¹熊本赤十字病院 形成外科、²同 病理診断科

E-5-4* 放射線治療後の瘢痕部に生じた頭部 Pleomorphic dermal sarcoma の1例

堀本浩平¹ (ほりもと こうへい)、加藤潤史¹、小林英理¹、細川夕菜¹、箕輪智幸¹、
藤岡菜生¹、佐藤さゆり¹、宇原 久¹、秋山幸功²、権田綾子³
¹札幌医科大学 皮膚科、²同 脳神経外科、³同 形成外科

E-5-5 リンパ節転移を生じた悪性末梢神経鞘腫の1例

齊藤陽平 (さいとう ようへい)、能登 舞、山田雅之、河野通浩
秋田大学 皮膚科

E-5-6 腫瘍内出血し、急速に拡大した低悪性度悪性末梢神経鞘腫瘍

松木康讓 (まつき やすのり)、須山孝雪、西村季紘、横山恵美、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

17:20~18:00 一般演題 19【間葉系・組織球系腫瘍 (2)】

抄録 P. 158

座長：名嘉眞武国 (久留米大学 皮膚科)
藤本 学 (大阪大学 皮膚科)

E-6-1 悪性末梢神経鞘腫に対して術後補助放射線治療を施行した2例

杉原 悟¹ (すぎはら さとる)、山崎 修¹、森実 真¹、片山敬久³、勝井邦彰²
¹岡山大学 皮膚科、²同 放射線科、³香川県立中央病院 放射線科

E-6-2 パゾパニブにより両下肢に血管炎を併発した子宮原発平滑筋肉腫の1例

村松正法 (むらまつ まさのり)、前賢一郎、入澤亮吉、早川数馬、吉田雅絵、
森 美穂、比留間淳、斎藤万寿吉、原田和俊、坪井良治
東京医科大学 皮膚科

E-6-3 難治性潰瘍を形成した足底類上皮肉腫

横山恵美 (よこやま めぐみ)、須山孝雪、西村季紘、松木康讓、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

E-6-4* 初回手術の24年後に局所再発した隆起性皮膚線維肉腫 (DFSP) の1例
—当院における DFSP 症例の検討—

黒澤小百合¹ (くろさわ さゆり)、森 弘樹¹、田中顕太郎¹、並木 剛²、三浦圭子³
¹東京医科歯科大学 形成外科、²同 皮膚科、³同 病理部・病理診断科

E-6-5 右大腿に生じた High Grade Myxofibrosarcoma

芳賀貴裕¹ (はが たかひろ)、岩間英明¹、大熊崇生¹、神保琢也²
¹気仙沼市立病院 皮膚科、²同 外科